

## お使いになるまえに～安全のために必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。以下の表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

### 本書に記載する記号について



**警告**

誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性、または物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

### 表示の例



**注意**

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図記号の場合は高温注意）が描かれています。



**禁止**

⊘ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図中やその周辺に具体的な禁止内容（左図記号の場合は分解禁止）が描かれています。



**指示**

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図のなかには具体的な指示内容（左図記号場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

### 警告



- 交流 100V 以外の電源では使用しないでください。感電や火災のおそれがあります。
- 電源コードに傷をつけたり、上に重いものをのせたり、強く引っ張ったりしないでください。感電や火災のおそれがあります。
- 機器の内部に燃えやすいものや、金属などを入れてください。また、水などをかけないでください。感電や火災のおそれがあります。万一、異物が入ったり、水がかかり動作をしない場合は、すぐに使用を中止して、販売店または当社営業担当にご連絡ください。
- 電源コードを高温部に近づけないでください。コードの被覆が溶けて感電や火災のおそれがあります。



- 機械の分解、改造は絶対におこなわないでください。感電や火災のおそれがあります。

### 警告



- 使用中に本体から煙がでたり、異臭、異音がするなどの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または当社営業担当にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- 機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。これを怠ると感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードに傷がついて感電や火災の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。これを怠ると感電の原因になります。



- 本機を直射日光の当たるところや、冷暖房器の近く、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がると、火災の原因になります。
- 本機を水、油、薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- 本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因になります。
- 本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜いておかないと火災の原因になります。
- 本機を移動させる場合は、本体台座部分を持ってください。台座部分を持たずに移動すると、事故や故障の原因になります。

## お願い

- 変色や変形、故障の原因になりますので本機を科学ぞうきん、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤で絶対にふかないでください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布につけ、よく絞ってからふいて、その後乾いた柔らかい布で水分をふきとってください。水洗いは絶対にしないでください。
- 本機を落としたり、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

## 登録商標について

- Windows 2000、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、iMac は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- IBM PC、XGA、SVGA、VGA は、International Business Machines Corporation の登録商標です。

## 米連邦通信委員会声明 (Class A)

**FC** 注意- 本装置は FCC 規則 Part15 に従う Class A のデジタルデバイスの制限値に適合していることがテストにより確認されています。それらの制限は装置を住居環境で使用した場合に有害な干渉の発生を適度に防止することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、および放出しています。指示に従って設置または使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置によって干渉が発生しないという保証はありません。本装置によってラジオまたはテレビ受信に装置の ON/OFF によって確認できる有害な干渉が発生した場合、ユーザーは以下のいずれか、または複数の対策を講じてください:

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

## Class A ITE:

Class A ITE は、Class B ITE の限度値を満足せず、Class A ITE の限度値を満足する上記以外の ITE です。それらの装置の販売は制限されませんが、使用に関しては以下の警告に留意する必要があります。

**警告-** これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者には適切な手段を講じるよう求められることがあります。

## CE Class A (EMC)

**CE** 本製品は電磁気両立性指令 2004/108/EEC に関する加盟諸国の法律の近似化の議会指令で制定された条件に適合していることが確認されています。

**警告-** これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者にはこの干渉を解消する適切な手段を講じるよう求められることがあります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

## 免責

本書の内容、品質、商品性、特定の目的への適合性に関して、明示的か暗示的かを問わず、いかなる保証または責任を放棄します。本書が提供する情報の信頼性は慎重に確認されていますが、正確性に欠いたとしても一切責任を負いません。本書に含まれる情報は予告なしに変更されることがあります。

AVer は、本製品または本書の使用または不使用によって発生したいかなる直接的、間接的、特別、付随的、または結果的な損害に対して、たとえこのような損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、一切責任を負いません。

## 商標

AVerVision は AVer Information Inc. 社の登録商標です。IBM PC は IBM 社の登録商標です。Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。Microsoft および Windows はそれぞれ Microsoft 社の登録商標および商標です。本書に記載されている他のすべての製品名または会社名は認証および説明目的のためだけで、各社の商標または登録商標となっている場合があります。

## 著作権

© 2011 by AVer Information Inc. 全権留保。本書の一部または全部を AVer Information Inc. 社の文書による許可なしに、いかなる手段でも、再発行、転送、検索システムへ保存、他の言語へ翻訳することを禁止します。



ゴミ箱のマークは他の家庭用廃棄物と一緒に本製品を廃棄してはならないことを示しています。むしろ、不要になった電気および電子装置をリサイクルのために指定された集積場に持参して、不要な装置を廃棄する必要があります。リサイクルするために不要な装置を廃棄する場所に関する詳しい情報については、家庭用廃棄物処理サービスセンターまたは製品を購入した販売店にお問い合わせください。

## リモートコントロールのバッテリーの安全性に関する情報

- バッテリーは涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 使用済みのバッテリーを家庭用廃棄物として廃棄しないでください。バッテリーは特別な集積場で廃棄するか、該当する場合には販売店に返却してください。
- 長期間使用しない場合には、バッテリーを取り外してください。バッテリーの液漏れや腐食により、リモートコントロールが損傷する場合があります。バッテリーは安全に廃棄してください。
- 古いバッテリーを新しいバッテリーと一緒に使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池(炭素亜鉛)、または充電式電池(ニッケルカドミウム)など、異なるタイプのバッテリーと一緒に使用しないでください。
- バッテリーを火の中に廃棄しないでください。
- バッテリーの端子を短絡させないようにしてください。

## クラス 2 レーザー製品



レーザー照射  
ビームを見つめないでください  
クラス 2 レーザー製品

# 目次

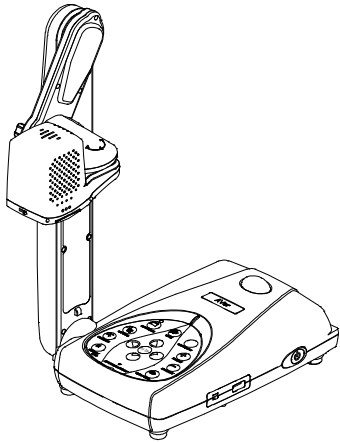
パッケージ内容 .....	1
オプション .....	1
<b>AVerVision M50 各部の紹介 .....</b>	<b>2</b>
右パネル .....	2
リアパネル .....	3
左パネル .....	3
コントロールパネル .....	4
リモコン .....	5
<b>各部の接続 .....</b>	<b>7</b>
TV-RGB スイッチの設定 .....	7
モニターまたは LCD/DLP プロジェクターへの接続 .....	7
DVI-I インターフェースによるモニターまたは LCD/DLP プロジェクターへの接続 .....	8
テレビへの接続 .....	8
コンピュータとの接続 .....	9
コンピュータへの接続 .....	9
USB によるコンピュータへの接続 .....	10
外部マイクの接続 .....	10
アンプスピーカーの接続 .....	11
顕微鏡への接続 .....	11
<b>設定と準備 .....</b>	<b>12</b>
カメラヘッド .....	12
メカカルアーム .....	12
LED 照明 .....	13
赤外線センサー .....	13
反射防止シート .....	13
外部メモリストレージ .....	14
SD カードの挿入 .....	14
USB フラッシュドライブの挿入 .....	14
<b>OSD メニュー .....</b>	<b>15</b>
メニューおよび設定の選択 .....	16
ベーシック .....	16
明るさ .....	16
コントラスト .....	16
オートイメージ .....	16
モード .....	17
フォーカス .....	17
画像効果 .....	17
デフォルト(初期化) .....	17

アドバンス.....	18
露出 .....	18
ホワイトバランス.....	18
地域設定 .....	19
ナイトビュー.....	19
プレゼンテーション .....	19
スポットライト.....	19
シェード .....	19
リサイズ .....	20
バイザー .....	20
シェード .....	20
PIP (ピクチャーインピクチャー) .....	21
画面分割 .....	21
タイマー .....	21
タイマー設定.....	21
セッティング .....	22
キャプチャー解像度 (撮影解像度) .....	22
キャプチャー品質 (撮影品質) .....	22
キャプチャータイプ (撮影タイプ) .....	22
キャプチャー間隔 (撮影間隔) .....	22
録画フォーマット .....	23
録画品質 .....	23
使用中のメモリ種類.....	23
フォーマット.....	23
システム.....	24
言語 .....	24
出力解像度.....	24
USB 状態.....	24
保存 .....	24
プロファイル .....	25
プロファイル読み出し .....	25
インフォメーション .....	25
プレイバック.....	26
スライドショー.....	26
間隔時間 .....	26
スライドショー効果 .....	26
使用中のメモリ種類.....	26
削除 .....	27
<b>撮影された画像/ビデオのコンピュータへの転送 .....</b>	<b>27</b>
<b>主な仕様 .....</b>	<b>27</b>
画像 .....	27
光学 .....	28

電源 .....	28
照明 .....	28
入力/出力.....	28
寸法、重量.....	29
外部ストレージ.....	29
<b>RS-232 接続図.....</b>	<b>29</b>
<b>RS-232 ケーブル仕様.....</b>	<b>29</b>
<b>RS-232 送信仕様.....</b>	<b>30</b>
<b>RS-232 通信方式.....</b>	<b>30</b>
<b>RS-232 コマンド表 .....</b>	<b>30</b>
<b>RS-232 機能表.....</b>	<b>31</b>
トラブルシューティング.....	37
保証について .....	38

## パッケージ内容

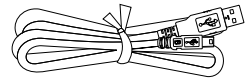
以下の品がパッケージに同梱されているかご確認ください。



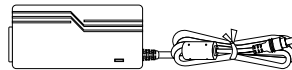
AVerVision M50



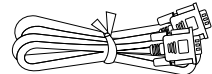
RS-232/CVBS ケーブル



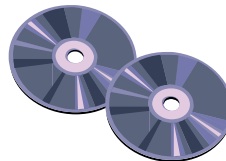
USB ケーブル



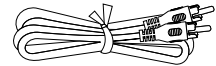
電源アダプタ



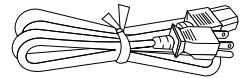
RGB ケーブル



ソフトウェアおよびマニュアル CD

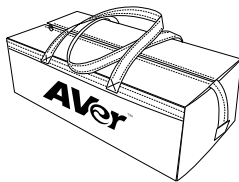


RCA ケーブル



電源コード

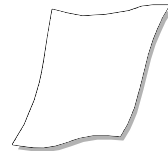
\*電源アダプタは販売国の電源コンセントの規格により異なります。



キャリングバッグ

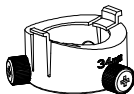


リモコン  
(電池を含む)



反射防止シート

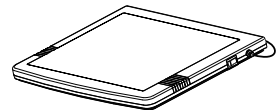
## オプション



34mm 顕微鏡用アダプタ

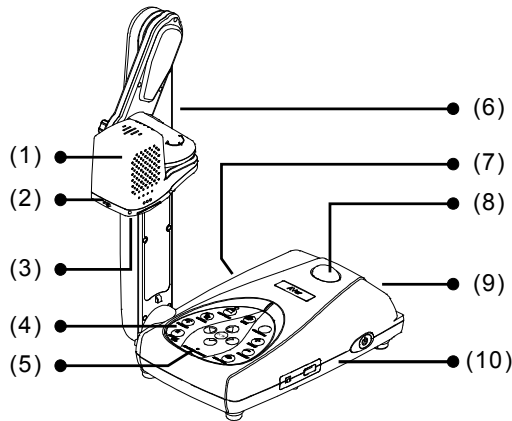


28mm 顕微鏡用アダプタ



ライトボックス

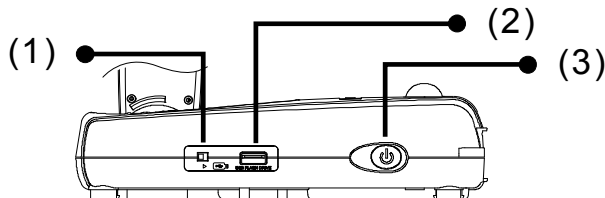
## AVerVision M50 各部の紹介



(fig. 1.1)

機能	説明
(1) カメラヘッド	カメラセンサーを内蔵しています。
(2) LED 照明	3つの異なる照明設定で点灯、消灯します。
(3) カメラレンズ	カメラの像に焦点を合わせます。
(4) コントロールパネル	さまざまな機能を簡単に操作できます。
(5) 内蔵マイク	ビデオクリップの録画中に音声を録音します。録音される音はモノラルです。
(6) アーム	延長して対象範囲を見ることができます。
(7) 左パネル	マイク、スピーカー、コンピュータ、SD カード、および TV-RGB ディスプレイ出力スイッチの接続部です。
(8) 赤外線センサー	リモコンの信号を受信します。
(9) リアパネル	電源および外部ディスプレイデバイスの接続部です。
(10) 右パネル	USB フラッシュドライブポート用のスイッチをオン/オフにします。

### 右パネル

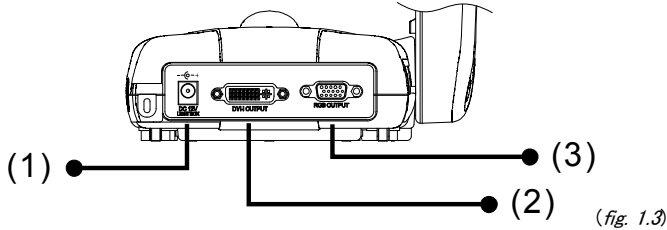


(fig. 1.2)

機能	説明
(1) USB フラッシュドライブスイッチ	右方向(▶)に切り替えると、USB フラッシュドライブにオーディオビデオを直接録画します。USB ケーブルを使用して AVerVision M50 をコンピュータに接続する場合には左方向(◀)に切り替えます。

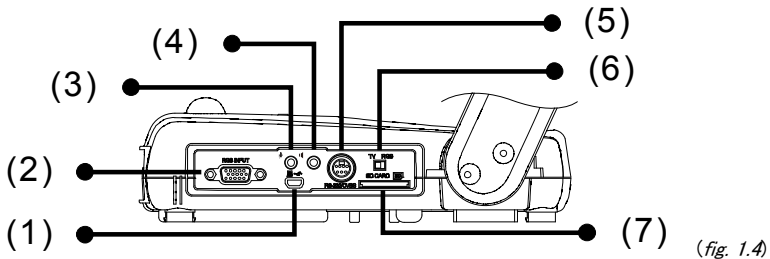
機能	説明
(2) USB フラッシュドライブポート	オーディオビデオ録画用に USB フラッシュドライブを挿入します。
(3) 電源ボタン	ユニットの電源を入れたり、スタンバイモードにします。

## リアパネル



機能	説明
(1) DC12V	電源アダプタと接続します。
(2) DVI 出力端子	AVerVision M50 を DVI 端子付きのディスプレイデバイスに接続します。 ディスプレイデバイスが DVI-I をサポートしていない場合には、カメラモードと再生モードでしか表示できません。
(3) RGB 出力端子	AVerVision M50 を RGB でディスプレイデバイスに接続します。

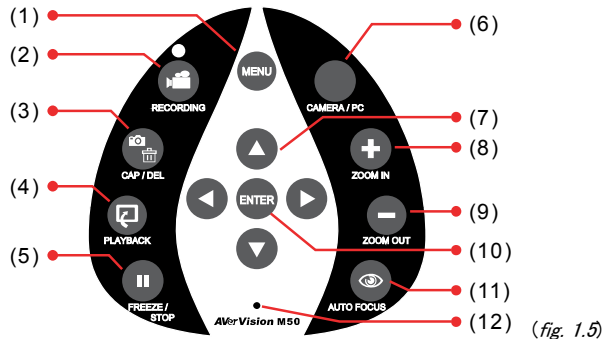
## 左パネル



機能	説明
(1) ミニ USB ポート	コンピュータの USB ポートに USB ケーブルを接続し、AVerVision M50 を USB カメラとして使用したり、キャプチャされた画像/ビデオをメモリソースからコンピュータに転送します。
(2) RGB 入力端子	コンピュータまたはその他の装置から信号を入力し、RGB 出力端子のみをパススルーします。この端子をコンピュータの RGB/VGA 出力端子に接続します。
(3) マイク ポート	3.5mm プラグマイクを接続します。外部マイクをこのポートに接続すると、内蔵マイクが無効になります。
(4) ヘッドホンポート	アンプスピーカーまたはヘッドホンに接続して、録音・録画されたオーディオまたはビデオクリップを再生します。

機能	説明
(5) RS-232/CVBS ポート	付属の RS-232/CVBS ケーブルをこのポートに接続します。RCA ジャックは、カメラからの信号を TV またはビデオ機器に出力します。RS-232 ジャックを使用して、コンピュータのシリアルポートまたはコントロールパネルに接続したり、必要に応じて集中制御を行うことができます。
(6) TV/RGB 切替スイッチ	RS232/CVBS (RCA 接続経由)および RGB からのディスプレイビデオの信号を RGB および DVI-I OUTPUT ポートに出力する TV スイッチです。
(7) SD カードスロット	SD カードをラベルを上向きにして挿入します。

### コントロールパネル



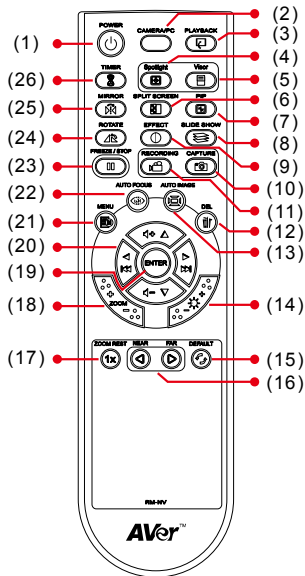
機能	説明
(1) メニュー	OSD メニューを開き、終了します。
(2) 録画	オーディオおよびビデオの録音・録画を開始/停止します。オーディオおよびビデオの録音・録画を保存できるのは、SD カードまたはUSB フラッシュドライブだけです。 <a href="#">External Memory Storage</a> を参照してください。
(3) 撮影/削除	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラモードで画像を撮影します。連続撮影モードで、このボタンをもう一度押して停止します。</li> <li>- 選択された写真/ビデオを再生モードで削除します。</li> </ul>
(4) 画像再生	撮影された静止画像およびオーディオビデオファイルを表示、再生します。
(5) フリーズ / 停止	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラモードで画像の表示を一時停止、または再開します。</li> <li>- 再生モードでオーディオおよびビデオの再生を停止します。</li> </ul>
(6) カメラ / PC	カメラとコンピュータを切り替えます。
(7) ▲, ▼, ◀, ▶	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ライブモードでも再生モードでも、ズームイン画像を上下左右に動かします。</li> <li>- OSD メニューでオプションを選択します。</li> <li>- ▲および▼を使用し、ビデオ再生音量を調整します。</li> <li>- ◀および▶を使用し、ビデオを早送りしたり巻き戻したりします。</li> <li>- Spotlight フレームおよび Visor 画面カバーを動かします。</li> </ul>
(8) 拡大	カメラモードおよび写真再生モードで画像の倍率を上げます。
(9) 縮小	カメラモードおよび写真再生モードで画像の倍率を下げます。

機能	説明
(10) ENTER	- 再生モードおよび OSD メニューで選択します。 - ビデオの再生を開始/一時停止します。
(11) オートフォーカス	焦点を自動的に調整します。
(12) 内蔵マイク	ビデオクリップの録画中にオーディオを自動録音します。

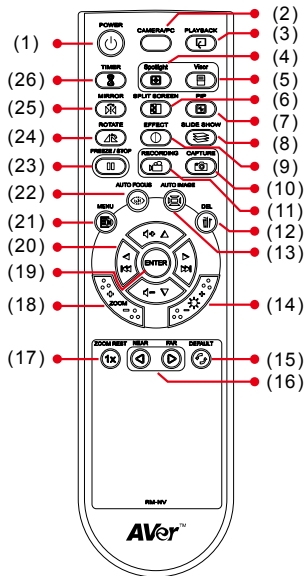
## リモコン

リモコンには「単 4」電池が 2 本必要です。ご使用になる前に、電池が正しく装着されているかを確認してください。リモコンで AVerVision M50 の全機能にアクセスすることができます。

機能	説明
(1) 電源	本体の電源を入れたり、スタンバイ状態にします。
(2) カメラ / PC	カメラモード、再生モード、PC モードを切り替えます。 - カメラモードは、内蔵カメラからのビデオ信号を表示します。 - PC モードは、AVerVision M50 の RGB 入力端子からのビデオ信号を表示します。
(3) 再生	メモリに取り込んだ写真/ビデオを 16-サムネイル画像で表示します。
(4) SPOTLIGHT	プレゼンテーション画面にボックスフレームを重ね、位置を変えてボックスサイズを調整することができます。
(5) VISOR	プレゼンテーション画面の一部を覆って、プレゼンターが必要に応じて資料内容を表示できるようにします。
(6) 画面分割	画面を 2 つに分割します。一方のディスプレイでは内蔵カメラからのライブ画像を表示し、もう一方のディスプレイでは 8-サムネイルサイズの写真/ビデオをメモリから表示します。
(7) PIP	メモリに取り込んだ写真/ビデオを、カメラモードの画面隅にサムネイルサイズで表示します。
(8) スライドショー	撮影した写真/ビデオを 1 つずつ自動的に表示する動作を開始/停止します。
(9) 画像効果	カメラモードまたは再生モードで、画像を白黒、ネガ、またはカラーに変換して表示します。
(10) 撮影	カメラモードで静止画像を撮影します。連続撮影モードで、このボタンをもう一度押して停止します。



(fig. 1.6)



(fig. 1.6)

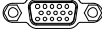
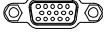




機能	説明
(11) 録画	オーディオおよびビデオの録音・録画を開始/停止します。ビデオの録画を保存できるのは、SDメモリーカードまたは USB フラッシュドライブだけです。
(12) 削除	選択された写真/ビデオを再生モードで削除します。
(13) オートイメージ	ホワイトバランスと露出設定を自動的に調整・設定します。
(14) 明るさ +/-	明るさの調整をします。
(15) 初期化	工場出荷時設定にリセットします。
(16) 焦点調整	焦点を手動で調整します。
(17) ズームリセット	ズームレベルを 100% にリセットします。
(18) ズーム +/-	カメラおよび写真の再生モードで画像の倍率を調整します。
(19) ENTER	- 再生モードおよび OSD メニューで選択します。 - ビデオの再生を開始/一時停止します。
(20) ▲, ▼, ◀, & ▶	- ライブモードまたはキャプチャ画像再生モードで画像を上下左右に動かします。 - 再生モードおよび OSD メニューで選択内容を移動させます。 - ▲および▼を使用し、ビデオ再生音量を調整します。 - ◀および▶を使用し、ビデオを早送りしたり巻き戻したりします。 - Spotlight フレームおよび Visor 画面カバーを動かします。
(21) メニュー	OSD メニューを開き、終了します。
(22) オートフォーカス	焦点を自動的に調整します。
(23) フリーズ / 停止	- ライブ画像をフリーズします。 - ビデオの再生を停止します。
(24) 回転	カメラモードおよび再生モードで画像を 90° 回転します。
(25) ミラー	カメラモードで画像を反転します。
(26) タイマー	タイマーのカウントダウンを開始/一時停止します。

## 各部の接続

すべてのデバイスの電源を必ず切ってから、接続を行ってください。どこに接続すべきかはっきりしない場合には、下図に示す接続方法に従い、さらに AVerVision M50 を接続するデバイスのユーザーマニュアルも参照してください。

### TV-RGB スイッチの設定

TV-RGB スイッチにより、ディスプレイ出力を選択することができます。RGB(右側)に切り替えて RGB/DVI-I 接続を使用して信号を出力するか、TV(左側)に切り替えて RCA 接続を使用して信号を出力します。(see fig. 1.4 # 6)

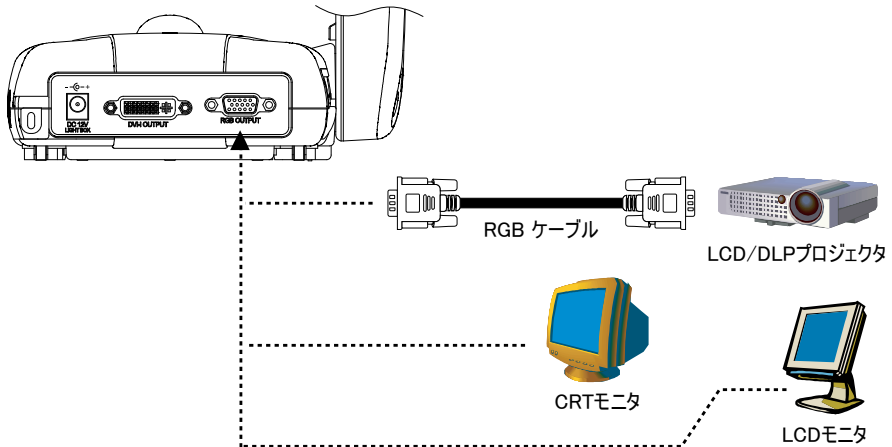
スイッチ	AVerVision ポート	接続先	ディスプレイ デバイス ポート
RGB	 RGB 出力端子	接続先	 RGB 入力端子
	 DVI-I 出力端子		 DVI-I 入力端子
TV	 RS232/CVBS (RS-232/CVBS ケーブルを使用)		 VIDEO IN 入力端子

### モニターまたはLCD/DLP プロジェクターへの接続

ディスプレイデバイスのRGB(VGA)入力端子を確認し、AVerVision M50のRGB 出力端子に接続します。



この時、TV/RGB 切替スイッチを RGB に設定することをご確認ください。

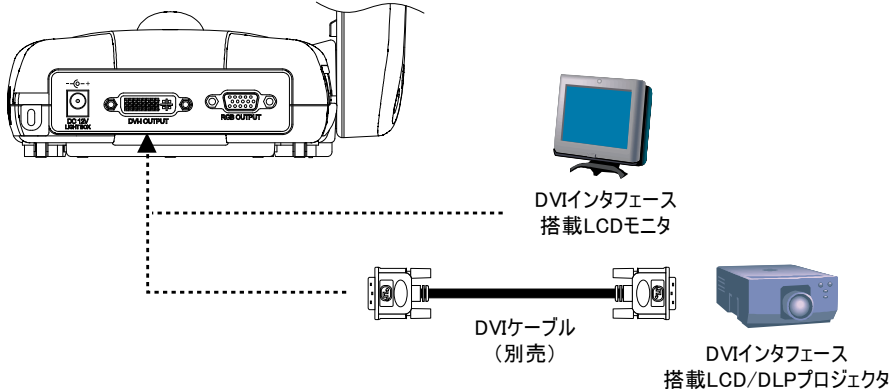


## DVI-IインターフェースによるモニターまたはLCD/DLPプロジェクターへの接続

ディスプレイデバイスのDVI-I 入力端子を確認し、AVerVision M50のDVI-I 出力端子に接続します。

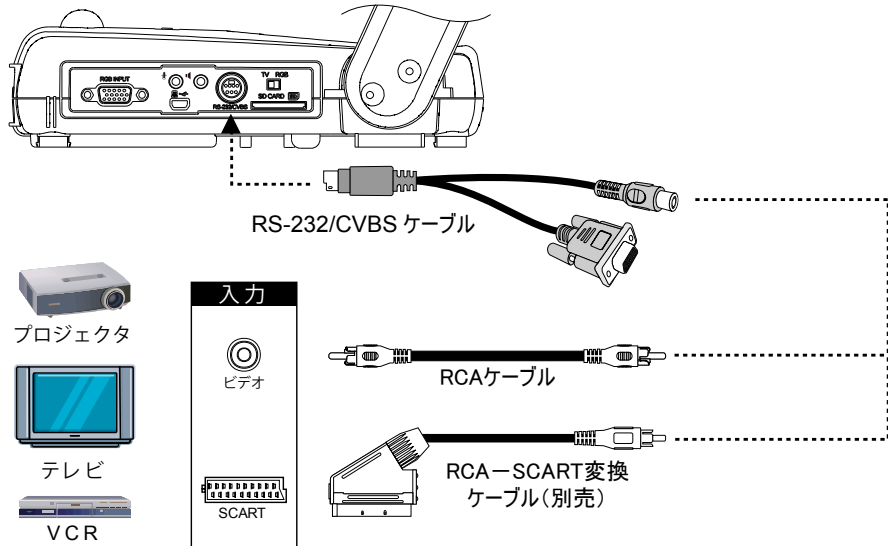


この時、TV/RGB 切替スイッチを RGB に設定することをご確認ください。



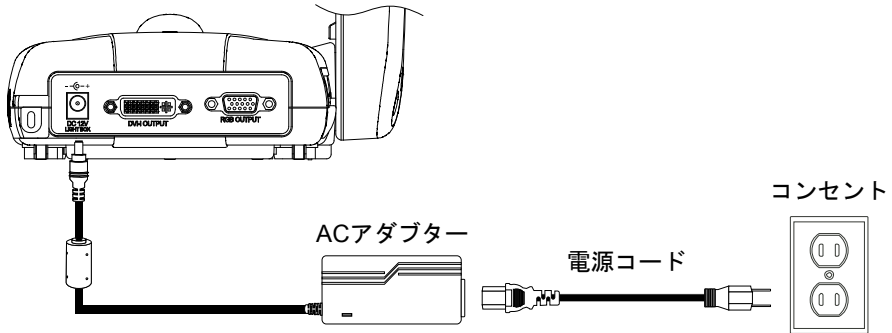
## テレビへの接続

テレビまたはプレゼンテーションを録画するビデオ装置(VCR)の VIDEO または SCART RGB(該当する場合)入力ポートを見つけ、RS-232/CVBS ケーブルの RCA ジャックに接続します。



## コンピュータとの接続

電源アダプタを標準の 100V～240V AC 電源コンセントに接続します。電源が接続されると、自動的に本体の電源が入ります。

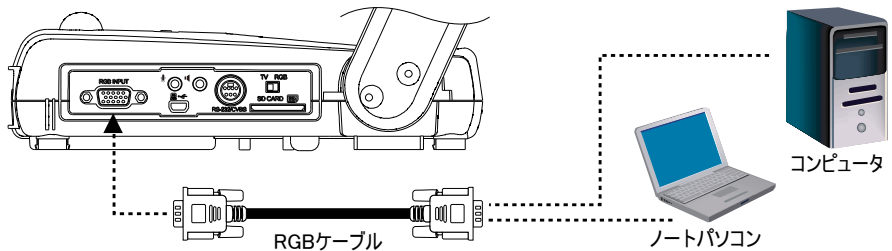


## コンピュータへの接続

コンピュータまたはラップトップの RGB(VGA)出力ポートを見つけ、AVerVision M50 の RGB INPUT ポートに接続します。RGB INPUT ポートからのビデオ信号は RGB ポートと DVI-I OUTPUT ポートに入ります。



- コンピュータ画像を表示するには、コントロールパネルまたはリモコンでカメラ/PC ボタンを押し、AVerVision M50 をコンピュータモードに切り替えます。
- ラップトップで表示画像を出力する場合、キーボード・コマンド(FN+F5)を用い、表示モードの間で切り替えます。異なるコマンドについては、お使いのラップトップのマニュアルを参照してください。

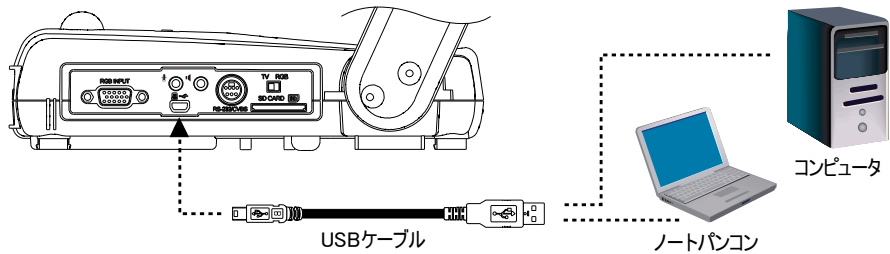


## USB によるコンピュータへの接続


コンピュータまたはラップトップの USB ポートを AVerVision M50 の USB ポートに接続します。これにより、AVerVision M50 を USB カメラとして使用したり、撮影された写真やビデオをメモリからコンピュータに転送することができます。「AVerVision M50 から PC へのファイル転送」も参照してください。

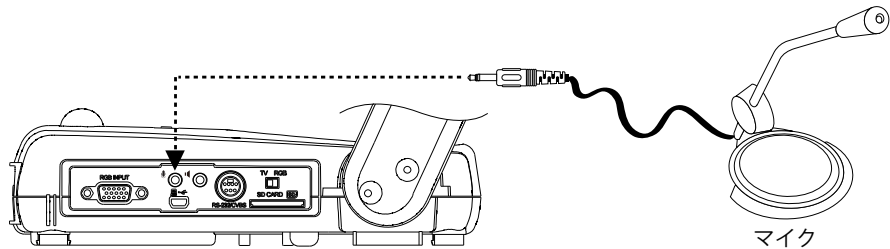


USB フラッシュドライブスイッチ(図 1.2 #1 を参照)が左側に入っていることをご確認ください。




## 外部マイクの接続

3.5mm モノマイクを  ポートにプラグインします。コントロールパネルの内蔵マイクは、外部マイクを接続すると無効になります。録音された音はモノラルになります。

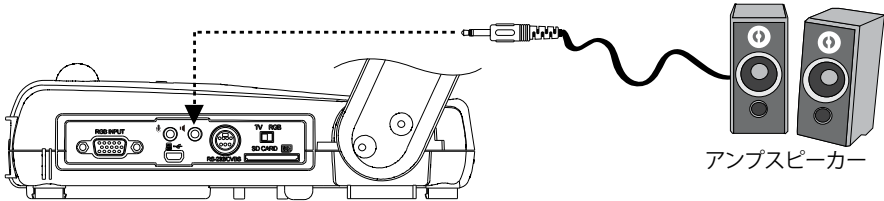


## アンプスピーカーの接続

3.5mm プラグアンプスピーカーを  ポートにプラグインします。ビデオ再生からのオーディオだけがサポートされます。



アンプスピーカーを Audio 出力ポートに接続するようお勧めします。イヤホンの使用時には注意してください。リモコンで音量を調整し、大きな音量による聴覚障害を防いでください。



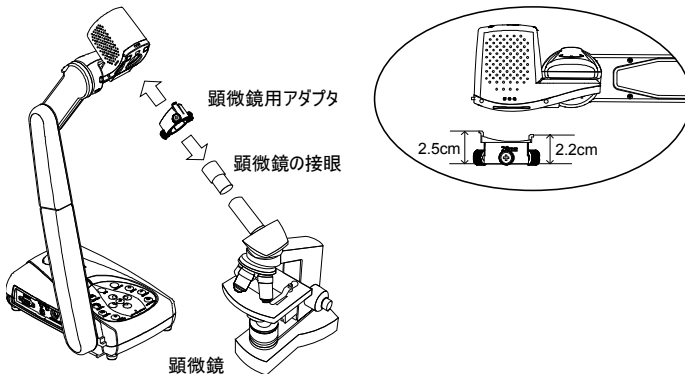
## 顕微鏡への接続

AVerVision M50 に顕微鏡を接続すると、目をこらさなくても、微細な対象物を大画面に表示できます。

1. 画像表示モードを顕微鏡に変更します。メニュー→モード>顕微鏡の順に押してから、ENTER を押します。
2. まず顕微鏡と焦点を調整します。そのあと、顕微鏡の接眼レンズに適したアダプタサイズを選択します。
3. 顕微鏡の接眼レンズを顕微鏡から取り外し、顕微鏡のアダプタを使用して接続します。アダプタが接眼レンズに固定されるまで 3 本のボルトを締め付けます。
4. 顕微鏡のアダプタを AVerVision カメラヘッドに取り付けます。



- 長い方のフックをカメラヘッドのフロントラッチホールへ確実に接続してください。
- 接眼レンズには、15.5mm 以上のアイリリーフを使うことをお勧めします。

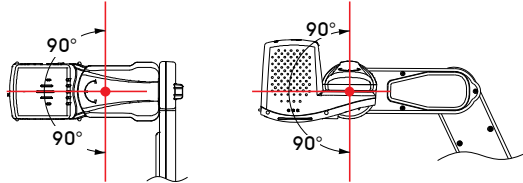


## 設定と準備

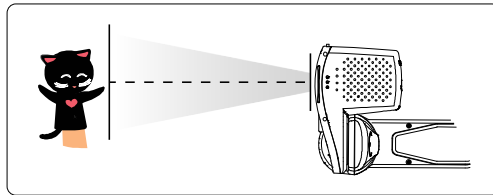
このセクションでは、使用条件に合わせてAVerVision M50を調整する方法について説明します。

### カメラヘッド

カメラヘッドは上下左右方向に90度まで自由に回転できます。

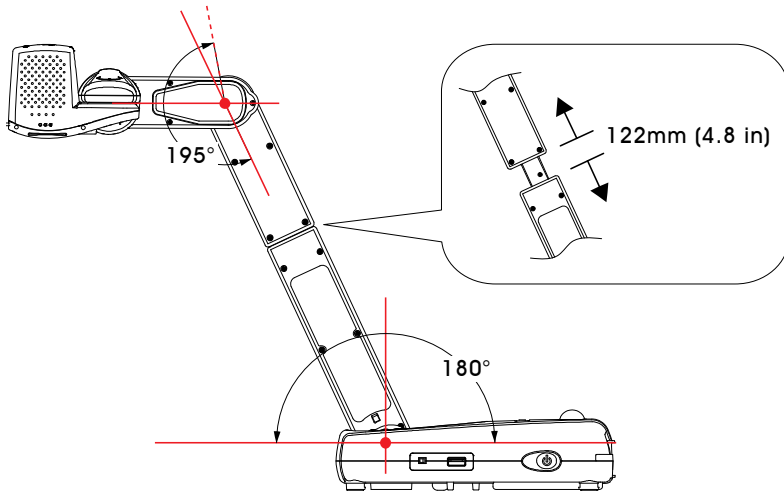


カメラヘッドが直立位置の場合には、リモコンの回転を2回押して画像を180°回転させることもできます。



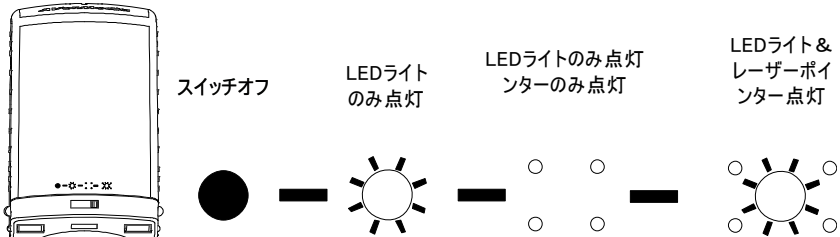
### メカニカルアーム

メカニカルアームの設計により、A3用紙サイズ全体を見ることができます。



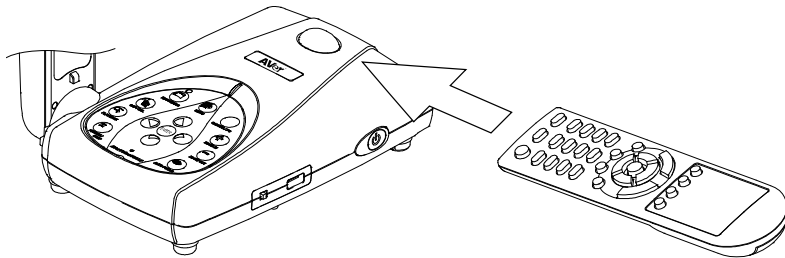
## LED照明

AVerVision M50 は特許取得済みの4つのレーザー配置ポインタ機能を備えており、表示エリアを定義します。これにより、ユーザーはカメラ下部の対象物をすばやく中央に位置させることができます。3種類のさまざまな照明およびレーザーによる配置ポインタ設定を下の図に示します。



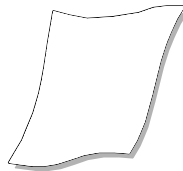
## 赤外線センサー

リモコンは赤外線センサーに向けて操作してください。



## 反射防止シート

反射防止シートは特殊コーティングされたシートです。このシートで、雑誌や写真など、光沢のあるオブジェクトや表面を表示する場合の反射を減らします。光沢のある書類の上に反射防止シートを乗せるだけで、反射を減らすことができます。



## 外部メモリストレージ

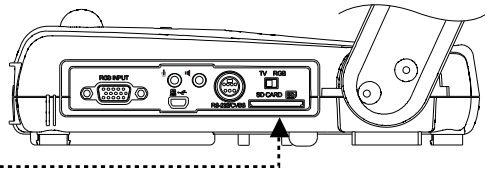
AVerVision M50 は SD メモリカードと USB フラッシュドライブをどちらもサポートしており、より大容量の画像撮影やオーディオとビデオの録音・録画が可能です。AVerVision M50 は外部ストレージメディアの場所を検出し、前回検出されたストレージに自動的に切り替えます。外部ストレージが接続されていない場合、撮影された静止画像はすべて内蔵メモリに保存されます。

### SD カードの挿入

接触部を下向きにしてカードを奥まで挿入します。カードを取り外すには、カードを押してイジェクトし、引き出します。サポートされた SD カードの容量は 1GB～32GB です。



セキュアデジタル (SD)

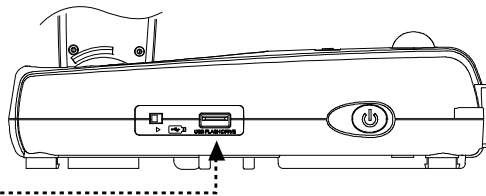


### USB フラッシュドライブの挿入

USB フラッシュドライブを挿入する前に、USB フラッシュドライブスイッチ(図 1.2 #1 を参照が右側)に入っていることをご確認ください。AVerVision M50 は、2GB～64GB の USB フラッシュドライブをサポートすることができます。



USB フラッシュドライブ

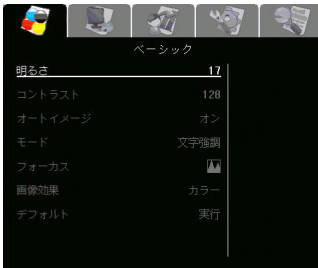


## OSD メニュー

OSD メニューには、ベーシック、アドバンス、プレゼンテーション、セッティング、およびシステムの 5 つのタブがあります。再生モードではプレイバック OSD メニューを利用し、スライドショー機能を有効にして、必要に応じてスライドショーの時間間隔と移行設定を変更することができます。



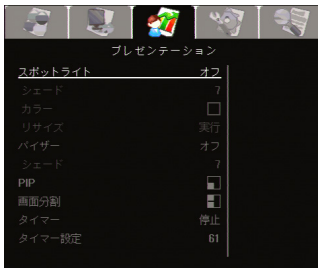
テレビ出力では、設定メニューリストで解像度の選択肢は無効にされます。



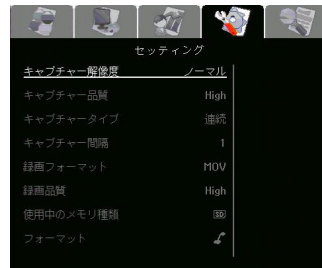
ベーシック



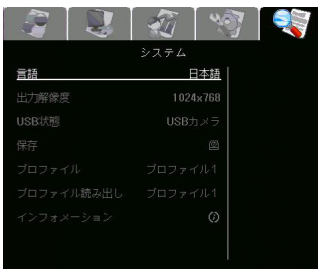
アドバンス



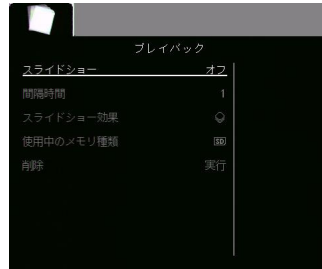
プレゼンテーション



セッティング



システム



プレイバック

## メニューおよび設定の選択

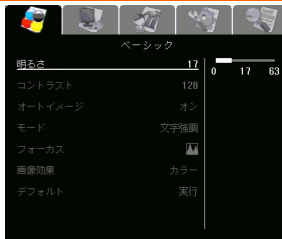


1. リモコンまたはコントロールパネルで MENU ボタンを押します。
2. ▶および◀を押してタブを切り替えます。
3. ▼ および▲ を押してメニューオプションを選択します。
4. ENTER を押して選択を行うと、右側に選択した設定が表示されます。
5. ▶および◀を使用して設定を調整し、▼ および▲ を使用して選択を行います。
6. ENTER を押して新しい設定を有効にします。
7. MENU を押して OSD メニューを終了します。

## ベーシック

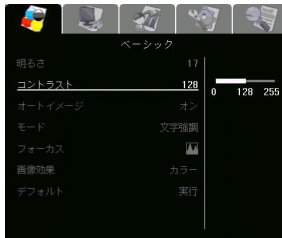
### メニュー画面

### 説明



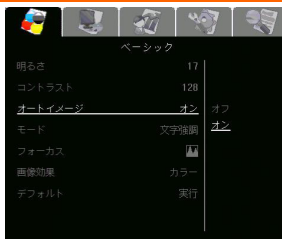
#### 明るさ

0～63 の値で輝度レベルを手動で調整します。



#### コントラスト

明るい環境や暗い環境では、コントラストレベルを 0 ～255 の値に手動で調整します。

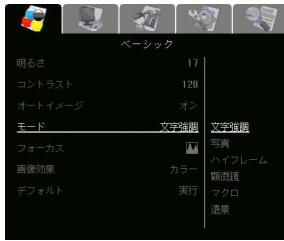


#### オートイメージ

ホワイトバランスと露出の設定を自動的に調整し、カラーと露出補正を修正します。

## メニュー画面

## 説明



## モード

さまざまな画像表示設定を選択します。

**文字強調**- 文字の輝度を調整します。

**写真**- 画像の階調を調整します。

**ハイフレーム**- フレームレートを高めます。このモードを使用するときには、十分な照明が必要です。

**顕微鏡**- 顕微鏡で表示するための最適なズームを自動調整します。

**マクロ**- 対象物とカメラの距離が 5～20 cm の場合のみに設定します。

**遠景**- 対象物とカメラの距離が最低 55cm 以上離れている場合に設定します。



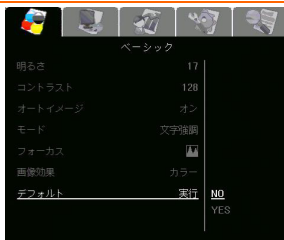
## フォーカス

焦点を手動で調整します。



## 画像効果

画像をポジ(24ビットカラー)、モノクロ(黒と白)、またはネガに転換します。

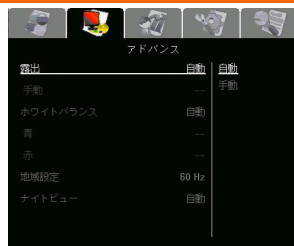


## デフォルト(初期化)

元の工場出荷時設定にすべての設定を戻します。

## アドバンス

## メニュー画面



## 説明

## 露出

露出設定を選択します。

**自動** - カメラ露出と必要な光量を自動的に調整します。



**手動** - 露出レベルを手動で調整します。露出は最高 100 まで調整することができます。

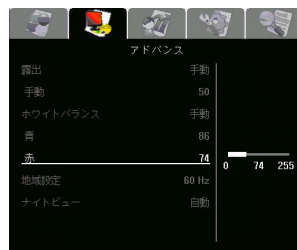


## ホワイトバランス

さまざまな照明条件または色温度に応じてホワイトバランス設定を選択します。

**自動** - ホワイトバランスを自動的に調整します。

**手動** - 赤と青のカラーレベルを手動で調整します。カラーレベルは最高 255 まで調整することができます。



## メニュー画面

## 説明



## 地域設定

50Hz または 60Hz を選択します。一部のディスプレイデバイスでは高い垂直走査周波数に対応できません。その場合、出力が別の垂直走査周波数に切り替わると、画像が何回かちらつきます。



## ナイトビュー

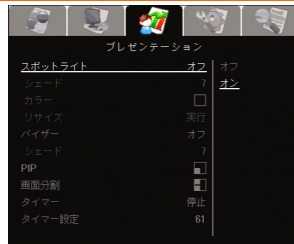
ナイトビューを**オフ**または**自動**に選択します。

照明の暗い条件で表示する場合には、ナイトビューは露出を調整してフレームレートを下げ、明るい画像を表示します。

## プレゼンテーション

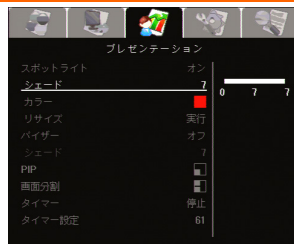
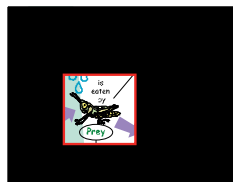
## メニュー画面

## 説明



## スポットライト

スポットライト をプレゼンテーション画面に表示します。プレゼンテーション画面で ▲、▼、◀、▶ ボタンを使用して スポットライト を移動させます。

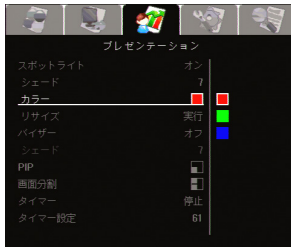


## シェード

ボックス外側のエリアの不透明度レベルを変更します。レベル 7 に設定すると、シェードのついたエリアは完全に黒くなります。

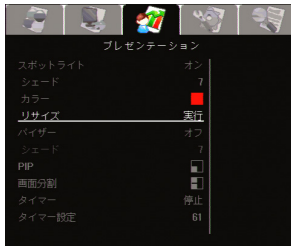
## メニュー画面

## 説明



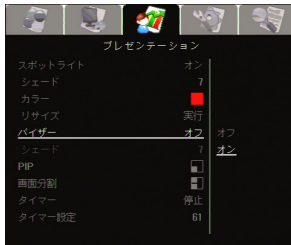
## カラー

Spotlight のフレームカラーを選択します。



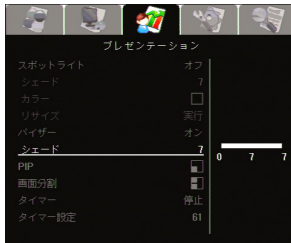
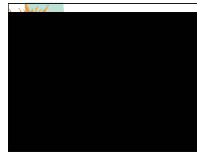
## リサイズ

Spotlight のフレームサイズを変更します。サイズ変更可能なモードの場合にフレームは点滅します。▲、▼、◀、▶ボタンを使用し、フレームサイズを調整し、ENTER を押して必要なサイズに設定します。



## バイザー

バイザー はプレゼンテーション画面の上に表示されます。プレゼンテーション画面の上部が一部だけ表示されます。▲、▼、◀、▶ボタンを使用すると、バイザー に覆われているエリアがさらに表示されます。

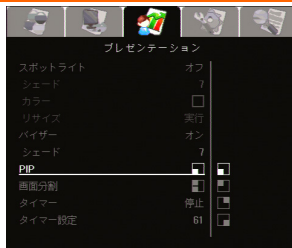


## シェード

覆われているエリアの不透明度レベルを変更します。レベル 7 に設定すると、シェードのついたエリアは完全に黒くなります。





## メニュー画面

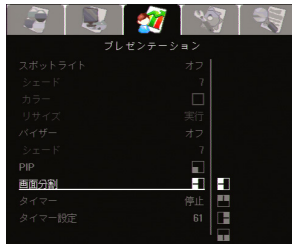
## 説明



## PIP（ピクチャーインピクチャー）

サムネイル再生画面の場所を選択し、画面の隅でサムネイル再生画面を表示し、カメラモードで撮影された画像をメモリから読み込みます。

-  左下
-  左上
-  右上
-  右下

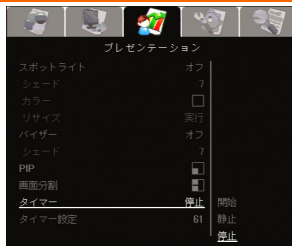


## 画面分割

画面を2つの部分に分割します。画面の半分は8つのサムネイル画像が表示され、残りの半分はAVerVision M50カメラからの画像が表示されます。

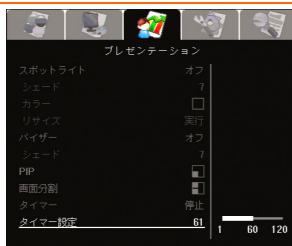
8-サムネイル再生画像の表示場所を選択します。

-  左
-  右
-  上
-  下



## タイマー

タイマーを開始/一時停止/停止します。カウントダウンがゼロに達するとタイマーは自動的にカウントアップし、経過時間を示します。再生モード、PCモード、またはカメラモードの間で切り替える際にも、タイマーは計時を続けます。



## タイマー設定

時間の値を設定します。タイマーは最高120分(2時間)まで設定することができます。

## セッティング

### メニュー画面

### 説明



#### キャプチャー解像度(撮影解像度)

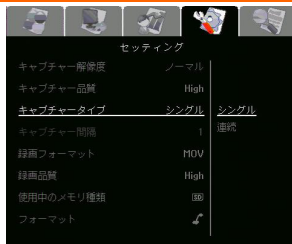
撮影サイズを選択します。通常設定では、撮影サイズは出力解像度に応じて決まります。

モード	出力解像度	撮影サイズ
ノーマル	1024 X 768	1024 X 768
	1280 X 720; 1920 X 1080	1280 X 720
	1280 X 960; 1600 X 1200	1280 X 960
	5M	2592 X 1944



#### キャプチャー品質(撮影品質)

撮影圧縮設定を選択します。

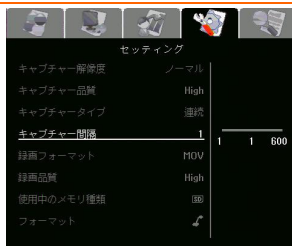


#### キャプチャータイプ(撮影タイプ)

撮影タイプを選択します。

シングル - 写真 1 つだけを撮影します。

連続 - 連続写真を撮影します。

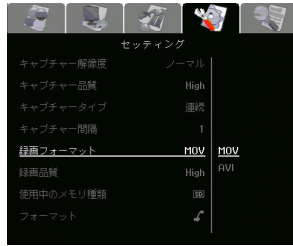


#### キャプチャー間隔(撮影間隔)

写真を撮影する時間間隔を設定します。時間間隔は最高 600 秒(10 分)まで設定することができます。

## メニュー画面

## 説明



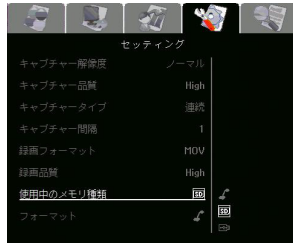
## 録画フォーマット

ビデオ録画フォーマットを MOV または AVI に選択できます。



## 録画品質

ビデオ録画設定を選択します。



## 使用中のメモリ種類

ストレージ場所を変更します。オーディオおよびビデオの録音・録画を保存できるのは、SD メモリカードまたは USB フラッシュドライブだけです。



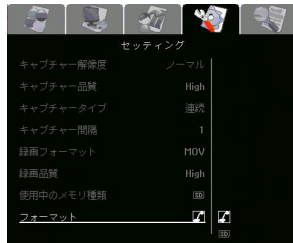
内蔵メモリ



SD カード



USB フラッシュドライブ

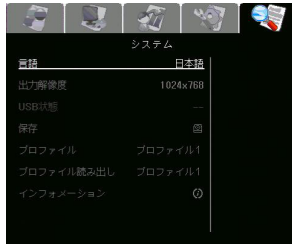


## フォーマット

フォーマットして、選択されたメモリのデータをすべて削除します。警告メッセージが表示されます。✓ を選択して続行するか、✗ を選択してストレージのフォーマットを停止します。

## システム

## メニュー画面



## 説明

## 言語

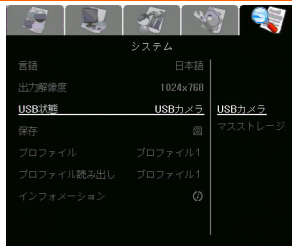
さまざまな言語に変更したり、選択します。



## 出力解像度

画像を画面に表示する解像度を設定します。この選択は TV 出力モードでは無効になります。

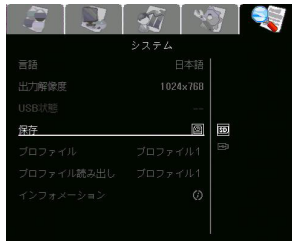
デバイス	RGB 出力	DVI 出力
RGB モニター	1024X768	1024X768
	1280X720	1280X720
	1280X960	1280X960
	1600X1200	1600X1200
	1920X1080	1920X1080
LCD TV	-	HD 720P 50HZ HD 720P 60HZ HD 1080P 50HZ HD 1080P 60HZ



## USB状態

AVerVision M50 が USB を介してコンピュータに接続されるときに、そのステータスを選択します。USB フラッシュドライブスイッチが左側に入っていることをご確認ください。

**USB カメラ** コンピュータのウェブカメラとして使用したり、付属のソフトウェアと併用してビデオを録画し、静止画像を撮影できます。  
**マストレージ** 撮影された写真/ビデオをメモリからコンピュータのハードディスクに転送します。

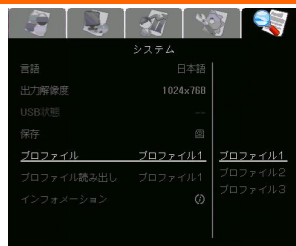


## 保存

内蔵メモリから SD または USB フラッシュドライブに画像をコピーします。

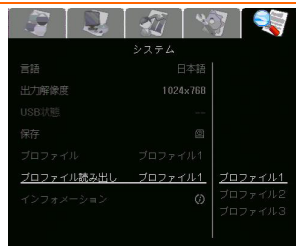
## メニュー画面

## 説明



## プロフィール

選択されたプロフィール番号に現在の設定を保存します。保存できるのは、効果、モード、明るさ、コントラストの設定だけです。



## プロフィール読み出し

選択したプロフィール番号の設定を読み出します。



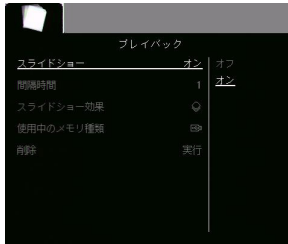
## インフォメーション

製品コードを表示します。

## プレイバック

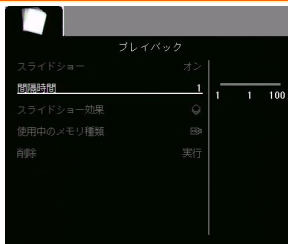
### メニュー画面

### 説明



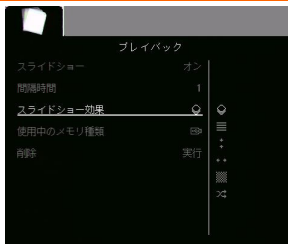
#### スライドショー

撮影された静止画像をすべて自動スライドショーで表示します。ビデオファイルはスキップされます。









#### 間隔時間

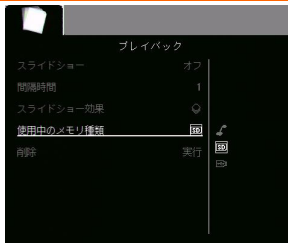
写真を表示する時間間隔を設定します。時間間隔は最高 100 秒まで設定することができます。



#### スライドショー効果

スライドショーの移行効果を選択します。

-  効果なし
-  外側へ垂直分割
-  ブラインド
-  チェッカーダウン
-  内側へ水平分割
-  すべての効果を使用

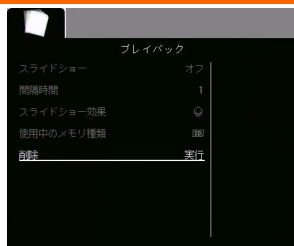


#### 使用中のメモリ種類

画像のソースを選択します。

## メニュー画面

## 説明



## 削除

選択されたメモリスourcesのデータをすべて完全に削除します。警告メッセージが表示されます。✓を選択して続行するか、✗を選択してストレージのフォーマットを停止します。

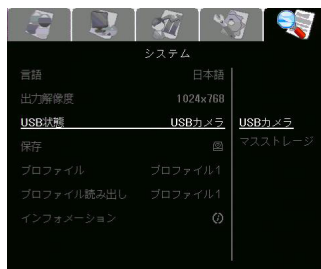
## 撮影された画像/ビデオのコンピュータへの転送

これにより、撮影された画像を内蔵メモリまたは SD カードからコンピュータへ転送します。



USB ケーブルを接続する前に、以下の指示に必ず従ってください。

1. コンピュータに AVerVision M50 を検出させるため、USB フラッシュドライブスイッチ(図 1.2 #1 を参照が右側に入っていることをご確認ください。
2. USB ケーブルに接続する前に、USB 状態 をマストレージ に設定する**必要があります**。



3. プレゼンテーション画面の右下隅に「Mass Storage Start…(大容量ストレージ開始)」が表示されれば、USB ケーブルを接続することができます。
4. USB ケーブルを接続すると、システムは新しいリムーバブル ディスクを自動的に検出します。これにより、AVERVISION M50 内蔵メモリからコンピュータのハードディスクへ撮影された画像を転送します。

## 主な仕様

### 画像

センサー	1/2.5" プログレッシブ・スキャン CMOS
画素数	500 万画素
フレームレート	最大 30 フレームレート
ホワイトバランス	手動/自動

露出	手動/自動
画像モード	文字強調/写真/ハイフレーム/顕微鏡/マクロ/遠景
効果	カラー/白黒/ネガ/ミラー/回転/フリーズ
アナログ RGB 出力	HD 1080p 60Hz (プランキングを低減); HD 720p 60Hz; UXGA 60 Hz; XGA 60 Hz; 1280 x 960
アナログ DVI-I 出力	HD 1080p 60Hz; HD 720p 60Hz; UXGA 60 Hz; XGA 60 Hz; 1280 x 960; 1080P 50HZ; 1080P 60HZ; 720P 50HZ; 720P 60HZ
画像キャプチャ	240 枚まで(XGA) ; 80 枚まで(5M Pixel)

## 光学

レンズ	F3.2 (ワイド); F6.8 (テレ)
焦点方式	手動/自動
撮影範囲	A3 用紙サイズ
ズーム方式	10X AVEROPTICAL™ (5X 光学ズーム+2X AVERZOOM™) 8X デジタルズーム

## 電源

電源	DC 12V, 100-240V, 50-60Hz
消費電力	18 W(ランプ消灯時); 20 W(ランプ点灯時)

## 照明

ランプの種類	レーザーポインタ付き LED 灯
--------	------------------

## 入力/出力

RGB 入力端子	15 ピン D-sub (VGA)
RGB 出力端子	15 ピン D-sub (VGA)
DVI 出力	DVI タイプ
CVBS/RS-232	ミニ DIN ジャック(S-ビデオ/RS-232 アダプターケーブルをお使いください。)
コンポジットビデオ端子	RCA ジャック
USB	USB2.0
DC 12V 入力端子	電源ジャック
マイク	フォンジャック
スピーカー	フォンジャック

## 寸法、重量

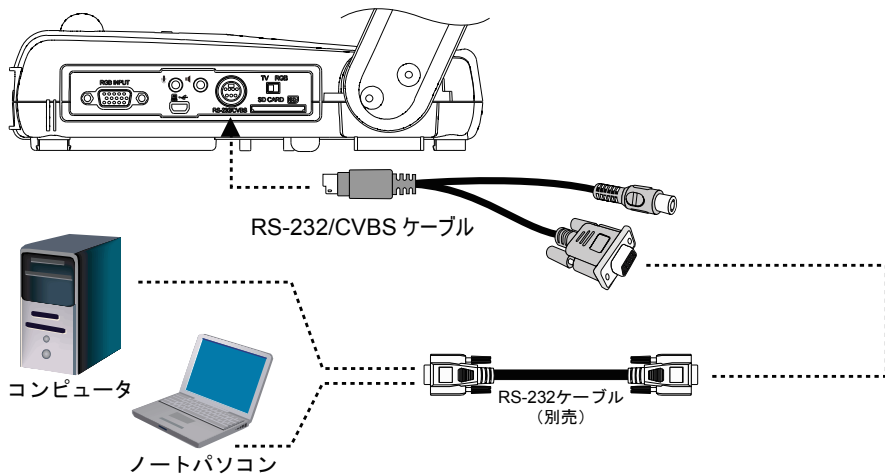
使用時	471mm x 174mm x 543mm (ゴム製脚部も含めて +/-2mm)
収納時	367mm x 174mm x 63mm (ゴム製脚部も含めて +/-2mm)
本体重量	約 2kg

## 外部ストレージ

セキュアデジタル (SD)	1 GB ~ 32GB (FAT 32, 16, 12)
USB フラッシュドライブ	2GB ~ 64GB (FAT 32, 16, 12)

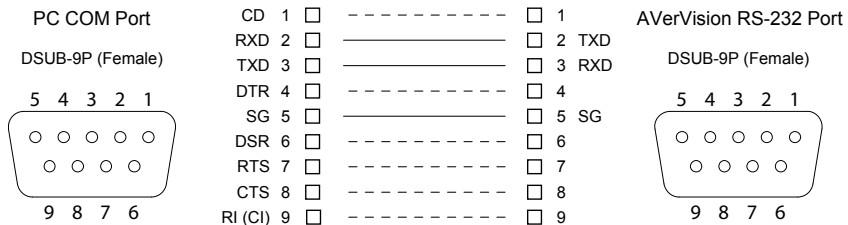
## RS-232 接続図

AVerVision M50 は、コンピュータまたは集中制御パネルを使用して RS-232 接続を介してコントロールすることができます。



## RS-232 ケーブル仕様

RS-232 ケーブルの仕様は以下の通りです。



## RS-232 送信仕様

- スタートビット : 1 ビット
- データビット : 8 ビット
- ストップビット : 1 ビット
- パリティビット : なし
- Xパラメータ : なし
- ボーレート (通信速度) : 9600bds

## RS-232 通信方式

- スタートコード(1 バイト) : 0xFF
- タイプコード(1 バイト) : 0x70
- データ長コード(1 バイト) : 0x01
- データコード(1 バイト) : コマンド表を参照してください
- チェックサムコード(1 バイト) : コマンド表を参照してください
- 形式 : スタート + タイプ + データ長 + データ + チェックサム
- 例 : 0xFF + 0x70 + 0x01 + 0x80 + 0xF1 (コマンド電源)

## RS-232 コマンド表

送信フォーマット : 0x52 + 0x05 + 0x01 + コマンド + 0x53 + チェックサム

受信フォーマット : 0x51 + 0x00 + 0x01 + 0x05 + 0x51 + 0x55

機能	コマンドコード	チェックサム	RS-232 コード
POWER	00	57	52,05,01,00,53,57
PC/ CAMERA	4A	1D	52,05,01,4A,53,1D
PLAYBACK	0B	5C	52,05,01,0B,53,5C
TIMER	01	56	52,05,01,01,53,56
SPOTLIGHT	02	55	52,05,01,02,53,55
VISOR	03	54	52,05,01,03,53,54
MIRROR	04	53	52,05,01,04,53,53
SPLIT SCREEN	05	52	52,05,01,05,53,52
PIP	06	51	52,05,01,06,53,51
ROTATE	07	50	52,05,01,07,53,50
EFFECT	08	5F	52,05,01,08,53,5F
SLITE SHOW	09	5E	52,05,01,09,53,5E
FREEZE/STOP	0C	5B	52,05,01,0C,53,5B
RECORDING	0A	5D	52,05,01,0A,53,5D
CAPTURE	0D	5A	52,05,01,0D,53,5A
AUTO FOCUS	0F	58	52,05,01,0F,53,58

機能	コマンドコード	チェックサム	RS-232 コード
AUTO IMAGE	10	47	52,05,01,10,53,47
MENU	0E	59	52,05,01,0E,53,59
DEL	11	46	52,05,01,11,53,46
ARROW - UPPER	12	45	52,05,01,12,53,45
ARROW - LEFT	13	44	52,05,01,13,53,44
ARROR - ENTER	14	43	52,05,01,14,53,43
ARROW - RIGHT	15	42	52,05,01,15,53,42
ZOOM +	17	40	52,05,01,17,53,40
EXPOSURE +	18	4F	52,05,01,18,53,4F
ARROR - DOWN	16	41	52,05,01,16,53,41
ZOOM -	4B	1C	52,05,01,4B,53,1C
EXPOSURE -	4C	1B	52,05,01,4C,53,1B
ZOOM RESET	19	4E	52,05,01,19,53,4E
NER	1A	4D	52,05,01,1A,53,4D
FAR	1B	4C	52,05,01,1B,53,4C
DEFAULT	1C	4B	52,05,01,1C,53,4B
PC PASSTHROUGH	4D	1A	52,05,01,4D,53,1A
CAMERA	4E	19	52,05,01,4E,53,19

## RS-232 機能表

送信フォーマット : 0x52 + 0x0B + 0x03 + Data[0] + Data[1] + Data[2] + 0x53 + チェックサム

受信フォーマット : 0x51 + 0x00 + 0x01 + 0x0B + 0x51 + 0x5B

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム	RS-232 コード
POWER OFF	0x01	0x00	0x00	0x5A	52,0B,03,01,00,00,53,5A
POWER ON	0x01	0x01	0x00	0x5B	52,0B,03,01,01,00,53,5B
IMAGE CAPTURE TYPE: SINGLE	0x02	0x00	0x00	0x59	52,0B,03,02,00,00,53,59
IMAGE CAPTURE TYPE: CONTINUOUS	0x02	0x01	0x00	0x58	52,0B,03,02,01,00,53,58
IMAGE CAPTURE CONTINUOUS INTERVAL INCREASE	0x03	0x00	0x00	0x58	52,0B,03,03,00,00,53,58

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム	RS-232 コード
IMAGE CAPTURE CONTINUOUS INTERVAL DECREASE	0x04	0x00	0x00	0x5F	52,0B,03,04,00,00,53,5F
IMAGE CAPTURE RESOLUTION: NORMAL	0x05	0x00	0x00	0x5E	52,0B,03,05,00,00,53,5E
IMAGE CAPTURE RESOLUTION: 5M	0x05	0x01	0x00	0x5F	52,0B,03,05,01,00,53,5F
TIMER START	0x06	0x00	0x00	0x5D	52,0B,03,06,00,00,53,5D
TIMER PAUSE	0x07	0x00	0x00	0x5C	52,0B,03,07,00,00,53,5C
TIMER STOP	0x08	0x00	0x00	0x53	52,0B,03,08,00,00,53,53
TIMER SET TIME	0x09	Value[1~120]	0x00	*1	*1
NIGHTVIEW OFF	0x0A	0x00	0x00	0x51	52,0B,03,0A,00,00,53,51
NIGHTVIEW ON	0x0A	0x01	0x00	0x50	52,0B,03,0A,01,00,53,50
PREVIEW MODE: TEXT	0x0B	0x00	0x00	0x50	52,0B,03,0B,00,00,53,50
PREVIEW MODE: GRAPHIC	0x0B	0x01	0x00	0x51	52,0B,03,0B,01,00,53,51
PREVIEW MODE: HIGH FRAME	0x0B	0x02	0x00	0x52	52,0B,03,0B,02,00,53,52
PREVIEW MODE: MICROSCOPE	0x0B	0x03	0x00	0x53	52,0B,03,0B,03,00,53,53
PREVIEW MODE: MACRO	0x0B	0x04	0x00	0x54	52,0B,03,0B,04,00,53,54
PREVIEW MODE: INFINITE	0x0B	0x05	0x00	0x55	52,0B,03,0B,05,00,53,55
PLAYBACK FULL SCREEN	0x0C	0x00	0x00	0x57	52,0B,03,0C,00,00,53,57
MIRROR OFF	0x0E	0x00	0x00	0x55	52,0B,03,0E,00,00,53,55
MIRROR ON	0x0E	0x01	0x00	0x54	52,0B,03,0E,01,00,53,54
ROTATE 0	0x0F	0x00	0x00	0x54	52,0B,03,0F,00,00,53,54
ROTATE 90	0x0F	0x01	0x00	0x55	52,0B,03,0F,01,00,53,55
ROTATE 180	0x0F	0x02	0x00	0x56	52,0B,03,0F,02,00,53,56

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム	RS-232 コード
ROTATE 270	0x0F	0x03	0x00	0x57	52,0B,03,0F,03,00,53,57
EFFECT: COLOR	0x10	0x00	0x00	0x4B	52,0B,03,10,00,00,53,4B
EFFECT: B/W	0x10	0x01	0x00	0x4A	52,0B,03,10,01,00,53,4A
EFFECT: NEGATIVE	0x10	0x02	0x00	0x49	52,0B,03,10,02,00,53,49
CONTRAST	0x11	Value[0~63]	0x00	*1	*1
BRIGHTNESS	0x12	Value[0~255]	0x00	*1	*1
AUTO IMAGE OFF	0x13	0x00	0x00	0x48	52,0B,03,13,00,00,53,48
AUTO IMAGE ON	0x13	0x01	0x00	0x49	52,0B,03,13,01,00,53,49
EXPOSURE: AUTO	0x14	0x00	0x00	0x4F	52,0B,03,14,00,00,53,4F
EXPOSURE: MANUAL	0x14	0x01	0x00	0x4E	52,0B,03,14,01,00,53,4E
EXPOSURE MANUAL INCREASE	0x15	0x00	0x00	0x4E	52,0B,03,15,00,00,53,4E
EXPOSURE MANUAL DECREASE	0x16	0x00	0x00	0x4D	52,0B,03,16,00,00,53,4D
WHITE BALANCE: AUTO	0x17	0x00	0x00	0x4C	52,0B,03,17,00,00,53,4C
WHITE BALANCE: MANUAL	0x17	0x01	0x00	0x4D	52,0B,03,17,01,00,53,4D
WHITE BALANCE BLUE INCREASE	0x18	0x00	0x00	0x43	52,0B,03,18,00,00,53,43
WHITE BALANCE BLUE DECREASE	0x19	0x00	0x00	0x42	52,0B,03,19,00,00,53,42
WHITE BALANCE RED INCREASE	0x1A	0x00	0x00	0x41	52,0B,03,1A,00,00,53,41
WHITE BALANCE RED DECREASE	0x1B	0x00	0x00	0x40	52,0B,03,1B,00,00,53,40
FLICKER: 50Hz	0x1C	0x00	0x00	0x47	52,0B,03,1C,00,00,53,47

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム	RS-232 コード
FLICKER: 60Hz	0x1C	0x01	0x00	0x46	52,0B,03,1C,01,00,53,46
FLICKER: AUTO	0x1C	0x02	0x00	0x45	52,0B,03,1C,02,00,53,45
SPOTLIGHT: OFF	0x1D	0x00	0x00	0x46	52,0B,03,1D,00,00,53,46
SPOTLIGHT: ON	0x1D	0x01	0x00	0x47	52,0B,03,1D,01,00,53,47
SPOTLIGHT SHADE Level 0	0x1E	0x00	0x00	0x45	52,0B,03,1E,00,00,53,45
SPOTLIGHT SHADE Level 4	0x1E	0x01	0x00	0x44	52,0B,03,1E,01,00,53,44
SPOTLIGHT SHADE Level 7	0x1E	0x02	0x00	0x47	52,0B,03,1E,02,00,53,47
SPOTLIGHT COLOR: RED	0x1F	0xF9	0x00	0xBD	52,0B,03,1F,F9,00,53,BD
SPOTLIGHT COLOR: GREEN	0x1F	0xFA	0x00	0xBE	52,0B,03,1F,FA,00,53,BE
SPOTLIGHT COLOR: BLUE	0x1F	0xFC	0x00	0xB8	52,0B,03,1F,FC,00,53,B8
SPOTLIGHT RESIZE	0x20	0x00	0x00	0x7B	52,0B,03,20,00,00,53,7B
VISOR: OFF	0x21	0x00	0x00	0x7A	52,0B,03,21,00,00,53,7A
VISOR: ON	0x21	0x01	0x00	0x7B	52,0B,03,21,01,00,53,7B
VISOR SHADE Level 0	0x22	0x00	0x00	0x80	52,0B,03,22,00,00,53,79
VISOR SHADE Level 4	0x22	0x01	0x00	0x83	52,0B,03,22,01,00,53,78
VISOR SHADE Level 7	0x22	0x02	0x00	0x85	52,0B,03,22,02,00,53,7B
PIP: OFF	0x23	0x00	0x00	0x78	52,0B,03,23,00,00,53,78
PIP: ON	0x23	0x01	0x00	0x79	52,0B,03,23,01,00,53,79
PIP POSITION: BOTTOM LEFT	0x24	0x00	0x00	0x7F	52,0B,03,24,00,00,53,7F
PIP POSITION: TOP LEFT	0x24	0x01	0x00	0x7E	52,0B,03,24,01,00,53,7E
PIP POSITION: TOP RIGHT	0x24	0x02	0x00	0x7D	52,0B,03,24,02,00,53,7D
PIP POSITION: BOTTOM RIGHT	0x24	0x03	0x00	0x7C	52,0B,03,24,03,00,53,7C
SPLITSCREEN: OFF	0x25	0x00	0x00	0x7E	52,0B,03,25,00,00,53,7E

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム	RS-232 コード
SPLITSCREEN: ON	0x25	0x01	0x00	0x7F	52,0B,03,25,01,00,53,7F
SPLITSCREEN DIR: UPPER SCREEN	0x26	0x01	0x00	0x7C	52,0B,03,26,01,00,53,7C
SPLITSCREEN DIR: LOWER SCREEN	0x26	0x02	0x00	0x7F	52,0B,03,26,02,00,53,7F
SPLITSCREEN DIR: LEFT SCREEN	0x26	0x03	0x00	0x7E	52,0B,03,26,03,00,53,7E
SPLITSCREEN DIR: RIGHT SCREEN	0x26	0x04	0x00	0x79	52,0B,03,26,04,00,53,79
RECORD: OFF	0x27	0x00	0x00	0x7C	52,0B,03,27,00,00,53,7C
RECORD: ON	0x27	0x01	0x00	0x7D	52,0B,03,27,01,00,53,7D
RECORD FORMAT: MOV	0x28	0x00	0x00	0x73	52,0B,03,28,00,00,53,73
RECORD FORMAT: AVI	0x28	0x01	0x00	0x72	52,0B,03,28,01,00,53,72
MOVIE FAST REWIND	0x29	0x00	0x00	0x72	52,0B,03,29,00,00,53,72
MOVIE FAST FORWARD	0x2A	0x00	0x00	0x71	52,0B,03,2A,00,00,53,71
MOVIE VOL INC	0x2B	0x00	0x00	0x70	52,0B,03,2B,00,00,53,70
MOVIE VOL DEC	0x2C	0x00	0x00	0x77	52,0B,03,2C,00,00,53,77
RECORD QUALITY: STANDARD	0x2D	0x00	0x00	0x76	52,0B,03,2D,00,00,53,76
RECORD QUALITY: FINE	0x2D	0x01	0x00	0x77	52,0B,03,2D,01,00,53,77
RECORD QUALITY: FINEST	0x2D	0x02	0x00	0x74	52,0B,03,2D,02,00,53,74
STORAGE: EMBEDDED	0x2E	0x00	0x00	0x75	52,0B,03,2E,00,00,53,75
STORAGE: SD CARD	0x2E	0x01	0x00	0x74	52,0B,03,2E,01,00,53,74
STORAGE: THUMB DRIVE	0x2E	0x02	0x00	0x77	52,0B,03,2E,02,00,53,77
FORMAT: EMBEDDED	0x2F	0x00	0x00	0x74	52,0B,03,2F,00,00,53,74

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム	RS-232 コード
FORMAT: SD CARD	0x2F	0x01	0x00	0x75	52,0B,03,2F,01,00,53,75
OUTPUT RESOLUTION: 1024x768	0x30	0x00	0x00	0x6B	52,0B,03,30,00,00,53,6B
OUTPUT RESOLUTION: 1280x720	0x30	0x01	0x00	0x6A	52,0B,03,30,01,00,53,6A
OUTPUT RESOLUTION: 1280x960	0x30	0x02	0x00	0x69	52,0B,03,30,02,00,53,69
OUTPUT RESOLUTION: 1600x1200	0x30	0x03	0x00	0x68	52,0B,03,30,03,00,53,68
OUTPUT RESOLUTION: 1920x1080	0x30	0x04	0x00	0x6F	52,0B,03,30,04,00,53,6F
OUTPUT RESOLUTION: HD720P 50Hz	0x30	0x05	0x00	0x6E	52,0B,03,30,05,00,53,6E
OUTPUT RESOLUTION: HD720P 60Hz	0x30	0x06	0x00	0x6D	52,0B,03,30,06,00,53,6D
OUTPUT RESOLUTION: HD1080P 50Hz	0x30	0x07	0x00	0x6C	52,0B,03,30,07,00,53,6C
OUTPUT RESOLUTION: HD1080P 60Hz	0x30	0x08	0x00	0x63	52,0B,03,30,08,00,53,63
USB CONNECT: USB CAMERA	0x31	0x00	0x00	0x6A	52,0B,03,31,00,00,53,6A
USB CONNECT: MASS STORAGE	0x31	0x01	0x00	0x6B	52,0B,03,31,01,00,53,6B
BACKUP TO SD CARD	0x32	0x00	0x00	0x69	52,0B,03,32,00,00,53,69
BACKUP TO THUMBDRIVE	0x32	0x01	0x00	0x68	52,0B,03,32,01,00,53,68
PROFILE SAVE: PROFILE 1	0x33	0x00	0x00	0x68	52,0B,03,33,00,00,53,68
PROFILE SAVE: PROFILE 2	0x33	0x01	0x00	0x69	52,0B,03,33,01,00,53,69
PROFILE SAVE: PROFILE 3	0x33	0x02	0x00	0x6A	52,0B,03,33,02,00,53,6A

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサム	RS-232 コード
PROFILE RECALL: PROFILE 1	0x34	0x00	0x00	0x6F	52,0B,03,34,00,00,53,6F
PROFILE RECALL: PROFILE 2	0x34	0x01	0x00	0x6E	52,0B,03,34,01,00,53,6E
PROFILE RECALL: PROFILE 3	0x34	0x02	0x00	0x6D	52,0B,03,34,02,00,53,6D
SLIDESHOW: OFF	0x36	0x00	0x00	0x6D	52,0B,03,36,00,00,53,6D
SLIDESHOW: ON	0x36	0x01	0x00	0x6C	52,0B,03,36,01,00,53,6C
SLIDESHOW EFFECT: NO EFFECT	0x37	0x00	0x00	0x6C	52,0B,03,37,00,00,53,6C
SLIDESHOW EFFECT: EFFECT 1	0x37	0x01	0x00	0x6D	52,0B,03,37,01,00,53,6D
SLIDESHOW EFFECT: EFFECT 2	0x37	0x02	0x00	0x6E	52,0B,03,37,02,00,53,6E
SLIDESHOW EFFECT: EFFECT 3	0x37	0x03	0x00	0x6F	52,0B,03,37,03,00,53,6F
SLIDESHOW EFFECT: EFFECT 4	0x37	0x04	0x00	0x68	52,0B,03,37,04,00,53,68
SLIDESHOW EFFECT: RANDOM EFFECT	0x37	0x05	0x00	0x69	52,0B,03,37,05,00,53,69

\*1 : チェックサム = 0x0B x または 0x03 x または Data[0] x または Data[1] x または Data[2] x または 0x53

## トラブルシューティング

このセクションでは、AVerVision M50の使用時に発生するかもしれない一般的な問題の解決方法について説明します。

### プレゼンテーション画面に画像が表示されません。

1. 本書に表示されているようにすべてのコネクタが正しく接続されているかどうかを確認します。
2. ディスプレイ出力装置のオン/オフスイッチを確認します。
3. ディスプレイ出力装置の設定を確認します。
4. ノートパソコンまたはコンピュータから表示出力装置を用いてプレゼンテーションを行う場合、コンピュータのRGB(VGA)出力からAVerVision M50のRGB入力へのケーブル接続を確認し、AVerVision M50がPCモードにあることを確実にします。

**AVerVision M50** の設定を完了し、すべての接続がマニュアルに指定されている通りになっていることを確認しましたが、希望のプレゼンテーション画面で画像を表示することができません。

1. スタンバイモードでは、本体の電源ボタンがオレンジ色に変わります。電源ボタンをもう一度押して、オンにします。LED ライトが青に変わります。
2. 初期設定でのカメラ表示解像度は 1024x768 に設定されています。出力装置がこの解像度に対応していない場合、画像は投影されません。MENU および **▶** ボタンを使って、解像度を変更してください。
3. ディスプレイ出力デバイスがテレビまたはその他のアナログデバイス上にある場合は、テレビ/RGB ディップスイッチをテレビに切り替えます。

### プレゼンテーション画面の歪んだ画像や不鮮明な画像が表示されます。

1. 元の工場出荷時設定に(該当する場合)、変更された設定をすべてリセットします。リモコンで**初期化**を押すか、OSD メニューでデフォルト(初期化)タブを選択します。
2. 可能な場合は、明るさまたはコントラストメニュー機能を使って歪みを修正します。
3. 不鮮明な画像や焦点が合っていない画像が表示された場合は、コントロールパネルの Auto Focus (自動焦点) ボタンを押してください。

### プレゼンテーション画面にコンピュータ信号が表示されません。

1. ディスプレイ装置、AVerVision M50、コンピュータ間のすべてのケーブル接続を確認します。
2. コンピュータと AVerVision M50 を接続してから、コンピュータの電源を入れます。
3. ノートパソコンについては、FN+F5 を繰り返し押して、表示モードを切り替え、コンピュータ画像をプレゼンテーション画面に表示します。異なるコマンドについては、お使いのラップトップのマニュアルを参照してください。

### カメラモードから PC モードに切り替えると、プレゼンテーション画面に PC やノートパソコンのデスクトップ画像が正しく表示されません。

1. PC またはノートパソコンのデスクトップに戻って、デスクトップ上でマウスを右クリックし、「プロパティ」を選択してから、「設定」タブを選択します。「2」のモニタをクリックして「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のボックスをオンにします。
2. その後、もう一度 PC またはノートパソコンに戻り、デスクトップ上でマウスを再び右クリックします。
3. このとき、「グラフィックオプション」、「出力先」、「Intel® Dual Display Clone」の順に選択してから、「モニタ + ノートパソコン」を選択します。
4. これらの手順に従うと、PC またはノートブック、さらにプレゼンテーション画面でも同じデスクトップ画像が表示できるはずですが。

### AVerVision M50 が挿入された USB フラッシュドライブを検出しません。

USB フラッシュドライブスイッチが右側になっているかをご確認の上、USB フラッシュドライブが適切に挿入されているかを確認してください。

## 保証について

該当する製品の購入日から「Warranty Period of AVer Product Purchased (購入された AVer 製品の保証期間)」セクションに定める期間、AVer Information Inc. (「AVer」)は、該当する製品(「製品」)が、AVer の製品向け文書に実質的に適合し、通常の使用では、その製造とコンポーネントに材料および仕上りの欠陥がないことを保証します。この契約で使用される「使用者」は使用者個人、または該当の製品を使用またはインストールする対象となる事業体を意味します。この制限付き保証は本来の購入者としての使用にのみ限定されます。前述の場合を除き、製品は「現状のまま」提供されます。AVer はいかなる状況でも、使用者が問題または中断なく製品を操作できること、または製品が使用者の目的に適合していることを保証するものではありません。この節における使用者の唯一の救済および AVer の全責任は、AVer の選択で、同じまたは同等の製品で、製品の修理または交換を行うことです。この保証は、(a) 製品のシリアル番号が判別不能だったり、修正されたり、外されたりした場合、または (b) 本製品と一緒に使用されるカートン、ケース、バッテリー、キャビネット、テープ、アクセサリには適用されません。この保証は、(a) 事故、乱用、誤用、粗略な取扱い、火、水、落雷などの自然災害、商業的または工業的使用、不適切な改造、製

品に含まれる指示に従わないこと、(b)製造元の担当者以外の者によるサービスの誤用、(c)出荷による損傷(そうした賠償は運送業者に請求しなければならない)、または(d)製品の不具合に関係のない他の原因によって、損傷、機能悪化、異常が生じた製品には適用されません。製品を修理または交換する保証期間は、(a)本来の保証期間、または(b)修理または交換した製品の出荷日から30日以内とします。

### 保証の制限

AVer はいかなる第三者に対しても保証する責任を負いません。製品の使用または不使用によって使用者に要求されたすべての賠償、損害、返済、費用、弁護士費用については、使用者が責任を負います。この保証は、製品が AVer の仕様に従って設置、操作、保守、使用された場合のみ適用されます。特に、保証は、(i)事故、異常な物理的、電気的、電磁氣的ストレス、粗略な取扱い、誤用、(ii)AVer の仕様の範囲を超える電力の変動、(iii) AVer または同社の正式代理店によって提供されたのではないアクセサリやオプションの併用、または (iv) AVer または同社の正式代理店以外の者による製品の設置、改造、修理によって引き起こされるいかなる障害にも適用されません。

### 保証の放棄

AVer は、明白に規定されている場合を除き、および法律で最大限に認められる範囲で、明示的か、暗示的か、法令によるかを問わず、品質の満足、売買の過程、取引利用や慣行や商品性の暗黙的保証、特定の目的への適合性、第三者の非侵害を含む、またはそれらに限定されない製品に関する他のすべての保証を放棄します。

### 責任の限定

AVer はいかなる事態が発生しようとも、過失または他の法的理論を含む契約または不法行為に基づき、この制限付き保証、またはいかなる製品の使用または性能に関連して発生した利益、データ、売上、利用の損失、またはビジネスの中断、または代替商品やサービスの提供コストを含む、またはそれに限定されない、直接的、間接的な、特殊な、偶発的な、深刻な、必然的な損害および損失に対して、そのような損害の可能性が事前に何らかの形で指摘されていたとしても、責任を負わないものとします。いかなる形態の行為に起因するものであれ、損害に対する AVer の責任は、責任が求められる特定の製品に対して使用者が AVer に支払った額を超えないものとします。

### 準拠法と使用者の権利

この保証は使用者に特定の法的権利を付与します。



保証期間については、保証書を参照してください。